

依頼をする時の言葉

Choice of words when making request

マウリン・ジュウ Maureen Zhu

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では、依頼をする時の言葉について書こうと思う。まず、依頼をする時に、日本人は躊躇いがちに、文を途中までしか言わない。次に、依頼をする時に、困っている状況だけを説明して、相手に依頼の内容を察してもらおう。第三に、日本語では依頼表現には可能否定形がよく使われる。つまり、日本人はよく婉曲な言葉を使う。中国語では、依頼する言葉は少し違う。まず、依頼をする時に、状況を説明した後で、お願いを言う。そして、お願いを言った後で、相手に決めさせる。最後に、中国語では依頼表現には可能否定形が使われない。中国語では、依頼をする時の態度の方が、依頼の言葉より重要だと思う。日本人と同じく、私も先生やボスに依頼をする時に時々躊躇いがちに、文を途中までしか言わない。それは丁寧な表現だ。でも、普通は依頼の内容を言って、相手の顔を見て、言う言葉は状況によって違う。日本語では、依頼をする時は言葉も態度も大切そうだ。例えば、中国人は可能否定形をほとんど使わないが、日本人はよく使う。その言語も丁寧な表現だと思う。日本では、そんなふうにならなければ、相手は変だと思う。結論して、日本語で依頼をする時に、婉曲な言葉をよく使う。でも、中国語では言葉は状況によって違う。